

福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想の 具体化に向けた取組について

平成26年11月4日
原子力被災者生活支援チーム
原子力災害現地対策本部

1. 復興に向けた取組の加速について

福島浜通り地域では、震災・原子力災害によって産業基盤が失われ、また、現在でも多くの方々が避難をされています。今後、順次帰還される住民や新たに移り住む方々の雇用・生活基盤の確保を念頭に、同地域の将来的な新産業の可能性を示す「福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想」(※)の実現は、地元からも大きな期待が寄せられています。

※福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想は、廃炉の研究開発拠点、ロボットの研究・実証拠点などの整備、そしてこれらを支える「まちづくり」を含んだ幅広い構想です。地元を含む産学官の有識者で構成される福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想研究会にて本年6月23日に取りまとめられました(研究会報告書:http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/report_01.html)。

今後、構想に掲げられる主要プロジェクトの具体化を進め、それを核としながら、同地域の産業振興を着実に進めることにより、原子力災害等からの復興に向けた取組を加速する必要があります。

2. 個別検討会の設置について

福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想に掲げられる主要プロジェクトの中には、既に具体化が進んでいるものもありますが、市場ニーズ、コストなどプロジェクトが持続的に成立していくために必要な検証・検討が必ずしも十分行われていないプロジェクトも存在します。

今般、構想の具体化に向けて、更に検証・検討が必要な個別のプロジェクト毎に、関係省庁、事業者、有識者等を中心に、福島県庁を交えつつ、採算性や技術面での実現可能性などテクニカルな視点からの検討を行う個別検討会を立ち上げることとします。

具体的には、11月上旬以降、以下に掲げる3つの検討会を順次立ち上げ、当面、今年度中を目途に、各プロジェクトに対する市場ニーズ、コスト、採算性の精査をはじめ、実現に向けた課題の整理、考え得る解決策などについて整理していく予定です。

<設置予定の個別検討会>

○ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会(別紙1)

(第1回開催予定)

日時:平成26年11月6日(木)

○国際産学連携拠点に関する検討会(別紙2)

(第1回開催予定)

日時:平成26年11月6日(木)

○スマート・エコパークに関する検討会(別紙3)

(第1回開催予定)

日時:平成26年11月上旬

※個別検討会は、出席者の自由闊達な意見交換の妨げとならないよう、非公開とします。

3. 今後の取組みについて

構想の具体化は、国、福島県、地元市町村がそれぞれ単独で成し遂げることは難しく、この3者をはじめとする関係者が一体となって取組を進めていく必要があります。

このため、今後、上記個別検討会での検討を広域的視点でとらえ、原子力災害等からの復興に向けた地域づくりを一体的に行うため、福島・国際研究産業都市(イノベーション・コースト)構想の具体化に向けた取組状況の共有、意見交換等を行う関係省庁、福島県庁、各市町村、有識者等からなる推進会議(仮称)を設置する予定です(別紙4)。

ロボット研究・実証拠点整備等に関する検討会

委員名簿

(敬称略)

あさま	はじめ	
浅間	一	東京大学工学系研究科精密工学専攻教授
つのやま	しげあき	
角山	茂章	福島県原子力対策監(会津大学教育研究特別顧問)
おざわ	よしひと	
小沢	喜仁	アカデミア・コンソーシアムふくしま(福島大学副学長)
わたなべ	ゆうじ	
渡辺	裕司	産業競争力懇談会実行委員会委員
おの	まさゆき	
尾野	昌之	電気事業連合会原子力部長
きくち	まこと	
菊地	眞	公益財団法人医療機器センター理事長(一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構理事長)
かとう	しん	
加藤	晋	独立行政法人産業技術総合研究所知能システム研究部門フィールドロボティクス研究グループ長
まの	あつし	
真野	敦史	独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構ロボット・機械システム部主任研究員
もりやま	よしのり	
森山	善範	独立行政法人日本原子力研究開発機構理事
こんどう	たかゆき	
近藤	貴幸	福島県企画調整部長
ほし	はるお	
星	春男	福島県商工労働部長
そでおか	さとし	
袖岡	賢	福島県ハイテクプラザ所長
むらまつ	けんいち	
村松	謙一	福島県電子機械工業会会長
いわみ	よしてる	
岩見	吉輝	国土交通省総合政策局公共事業企画調整課施工安全企画室長
もり	たくお	
森	卓生	防衛省経理装備局技術計画官
まつもと	しんたろう	
松本	真太郎	復興庁参事官
ほしの	たけお	
星野	岳穂	経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課長
さわき	きよし	
佐脇	紀代志	経済産業省製造産業局産業機械課長
とだか	ひでし	
戸高	秀史	内閣府原子力被災者生活支援チーム参事官
とよしま	こうじ	
豊島	厚二	原子力災害現地対策本部総括班長

(オブザーバー)

しらいし	のぶひこ	
白石	暢彦	消防庁特殊災害室長
にしだ	りょうぞう	
西田	亮三	文部科学省研究開発局原子力課放射性廃棄物企画室長

国際産学連携拠点に関する検討会
委員名簿

(敬称略)

おざわ	よしひと	アカデミア・コンソーシアムふくしま(福島大学 副学長)
小沢	喜仁	
つのやま	しげあき	福島県 原子力対策監(会津大学 教育研究特別顧問)
角山	茂章	
はら	のぶよし	東北大学 理事(工学研究科 教授)
原	信義	
おばら	とおる	東京工業大学 原子炉工学研究所 教授
小原	徹	
こが	てつや	九州国際大学 経済学部 特任教授
古賀	哲矢	
なかむら	たかゆき	福島工業高等専門学校 校長
中村	隆行	
やまな	はじむ	原子力損害賠償・廃炉等支援機構 副理事長
山名	元	
もりやま	よしのり	独立行政法人日本原子力研究開発機構 理事
森山	善範	
せと	まさひろ	独立行政法人産業技術総合研究所 理事
瀬戸	政宏	
けんだ	ひろふみ	技術研究組合国際廃炉研究開発機構(IRID) 理事長
剣田	裕史	
まつだ	まさみ	株式会社日立製作所 電力システム社 CTO
松田	将省	
いしざき	よしゆき	東京電力株式会社 福島復興本社 代表
石崎	芳行	
こんどう	たかゆき	福島県 企画調整部 部長
近藤	貴幸	
おおぬま	ひろふみ	福島県 教育庁 高校教育課 課長
大沼	博文	
そでおか	さとし	福島県ハイテクプラザ 所長
袖岡	賢	
とだか	ひでし	内閣府 原子力被災者生活支援チーム 参事官
戸高	秀史	
まつもと	しんたろう	復興庁 参事官
松本	真太郎	
さかもと	しゅういち	文部科学省 科学技術・学術政策局 産業連携・地域支援課 課長
坂本	修一	
にしだ	りょうぞう	文部科学省 研究開発局 原子力課 放射性廃棄物企画室 室長
西田	亮三	
ほしの	たけお	経済産業省 地域経済産業グループ 地域経済産業政策課 課長
星野	岳穂	
みやもと	いわお	経済産業省 産業技術環境局 大学連携推進室 室長
宮本	岩男	
しんかわ	たつや	資源エネルギー庁 電力・ガス事業部 原子力発電所事故収束対応室 室長
新川	達也	
とよしま	こうじ	原子力災害現地対策本部 総括班長
豊島	厚二	

スマート・エコパークに関する検討会

委員名簿

(敬称略)

なかむら たかし 中村 崇	東北大学教授
おおき たつや 大木 達也	独立行政法人産業技術総合研究所環境管理技術研究部門リサイクル基盤技術研究グループ長
しらい まこと 白井 真	東京電力株式会社環境部長
すずき せいいち 鈴木 精一	福島県商工労働部理事
はせがわ てつや 長谷川 哲也	福島県生活環境部長
まつもと しんたろう 松本 真太郎	復興庁参事官
やまもと まさひろ 山本 昌宏	環境省廃棄物・リサイクル対策部企画課長
ほしの たけお 星野 岳穂	経済産業省地域経済産業グループ地域経済産業政策課長
ふかせ さとし 深瀬 聡之	経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長
とだか ひでし 戸高 秀史	内閣府原子力被災者生活支援チーム参事官
とよしま こうじ 豊島 厚二	原子力災害現地対策本部総括班長

※適宜関連企業、有識者等の出席を求め、ヒアリング等を実施

イノベーション・コースト構想に関する推進会議(仮称)

- 関係省庁、福島県、各市町村、有識者などからなる全体会合(福島県で開催)
- 個別検討会における検討状況の報告、その他構想具体化に向けた進捗状況の共有を中心に意見交換等を実施
- 今後、年内開催を目途に会議の詳細等について検討予定



個別検討会

- 3プロジェクト(ロボット拠点整備、産学連携拠点、スマート・エコパーク)についてテクニカルな課題等を整理
- 関係省庁、関係企業、有識者等を中心に構成し、地元からは福島県庁が参加
- 11月上旬以降、それぞれ東京で開催



検討会以外での進捗

- 福島県、各市町村等による取組み
- 先行プロジェクトの進捗 など